

## Medical group urges Science Council of Japan to keep military research ban

---

June 9, 2016 (Mainichi Japan)

A group of medical practitioners and other experts urged the high-powered Science Council of Japan (SCJ) on June 8 to retain its post-war resolution vowing never to follow scientific research for war purposes.

The Association for the Verification of Inhuman Conduct by Japanese Researchers and Health Care Professionals during the War made the request at a news conference in Tokyo attended by five members, including Shiga University of Medical Science professor emeritus Katsuo Nishiyama and Rikkyo University professor Rika Kayama. The association made the request as the SCJ, a representative organization of Japanese scholars and scientists in all fields of sciences, started to consider reviewing its long-held resolution to stand against military research.

The association has been engaged in efforts to verify the development of biological weapons and the actual conduct of Unit 731, the Imperial Japanese Army's secret research organ that undertook human experimentation during World War II.

Nishiyama said at the news conference, "The facts have remained hidden as medical scientists, doctors and others involved received exemptions from responsibility from the United States in exchange for providing data." He went on to say, "The problems of Unit 731 contain everything military research is destined to reach. The SCJ's move is to follow the path to past mistakes."

2016. 6. 9

毎

## 軍学共同の動き危惧

医学者らが声明発表

医学・医療関係者に「軍」の検証を進める  
による「戦争と医の倫理」は8日、国会内で

会見し、軍学共同の動きを危惧し、反対する声明を発表しました。日本の科学者の代表機関である日本学術会議の大西隆会長が自衛隊のための軍事研究を認める発言をし、国会議

関する検討委員会」を設置しました。声明はこうした動きに対して、軍事研究に道を開くものではないかという危惧を表明しています。

中国で人体実験や細菌戦を行った旧日本軍「731部隊」に代表されるように、日中戦争では患者の命を守るべき医学者・医師が「研究」の名目のもとに残虐行為を行い、戦後はデータ供与と引き換えに米政府に免責

「731部隊」の問題には、軍事研究が行き着く先すべてが含まれている」と指摘し、学術会議に、軍事研究拒否を宣言した従来の声明を

「研究」の名目のもとに残虐行為を行い、戦後はデータ供与と引き換えに米政府に免責されたと強調。731

「1部隊」の問題には、国会で同代表世話人の西山勝夫・滋賀医科大学名誉教授は「学術会議の私見を否定することへの期待も込めて声明を発表した」と話しました。

赤旗 160609

## 軍事研究容認に反対

医学関係団体「過ち再びたどる」

日本の科学者の代表機関「日本学術会議」が軍事研究を否定する

声明の見直し検討を始めたことを受け、医学関係者らでつくる団体

「戦争と医の倫理の検証を進める会」は8日、

東京都内で記者会見し、歴史を踏まえて声

明を守るよう訴えた。

西山勝夫・滋賀医科大学名誉教授（社会医学）、精神科医の香山

リカ・立教大学教授ら5人が出席した。

同会は、第二次大戦

中に細菌兵器開発や人体実験をした旧日本軍の秘密機関731部隊の検証に取り組んできた。西山氏は「関与した医学者や医師らはデ

ータ供与と引き換えに米

国から免責され、事実

は隠されたまま」と指

摘。「731部隊の問題には軍事研究が

行き着く全てが含まれ

ていて、学術会議の動きは過去の過ちへの道を再びたどるものだ」と

批判した。

【千葉紀和】

## 学術会議に反対声明

日本学術会議が軍事研究のあり方を見直す検討委員会を設置したことを受け、医師らでつくる「戦争と医の倫理」の検証を進める会」が8日、軍事研究に道を開くものだとする反対声明を発表した。

会の代表世話人を務める西山勝夫・滋賀医大名誉教授は、学術会議の大西隆会長が自衛目的の研究を容認するとの考えを示してきた」と指摘。「医師を含め、広く科学者が研究の名目で残虐な行為をおこなう加害者となった過ちを繰り返すべきではない。自衛の名のもとに軍事研究に公然と道を開こうという委員会設置を強く危惧する」と訴えた。

と述べ、世話人の香山リカ・立教大学教授は、「検討委員会が大西会長の私見を否定することへの期待も込めて声明を発表した」と話しました。

日本学術会議が、大学や研究機関の研究者が自衛目的の軍事研究をすることの是非などを検討する委員会を設置したのを受け、医学系の研究者らでつくる「戦争と医の倫理」の検証を進める会」が8日、東京都内で記者会見した。代表世話人の西山勝夫・滋賀医科大学名誉教授は「学術会議が過去に出した『軍事目的のための科学研究を行わない声明』の擁護を求める」とする声明を発表した。

検証を進める会は、旧日本軍の七三一部隊による人体実験などの非人道行為を検証し、医の倫理向上を図るために二〇〇九年に設立された。

会見では、学術会議の大西隆会長が「自衛目的の研究を大学などの研究者が行うことは許容されるべきだ」と発言したことに意見が相次いだ。松村高夫慶応大学名誉教授は「戦前も自衛のためとして軍事研究が進められた」と指摘。「安倍政権は大学の軍事研究を認めるべきだとして、いくつかの大学が軍事研究を認めた。日本社会の軍事化の流れの中で出た発言で危機感を持っている」と話した。

精神科医の香山リカ立教大学教授は「学術会議でも抗議の声を上げにくい状況なのではないか。多くの人に現状を知ってもらい、軍事研究反対の声を上げていくことが大切だ」と話した。

2016. 6. 9 東京

## 「軍事目的の研究しない声明」擁護

日本学術会議が、大学や研究機関の研究者が自衛目的の軍事研究をすることの是非などを検討する委員会を設置したのを受け、医学系の研究者らでつくる「戦争と医の倫理」の検証を進める会」が8日、東京都内で記者会見した。代表世話人の西山勝夫・滋賀医科大学名誉教授は「学術会議が過去に出した『軍事目的のための科学研究を行わない声明』の擁護を求める」とする声明を発表した。

検証を進める会は、旧日本軍の七三一部隊による人体実験などの非人道行為を検証し、医の倫理向上を図るために二〇〇九年に設立された。

会見では、学術会議の大西隆会長が「自衛目的の研究を大学などの研究者が行うことは許容されるべきだ」と発言したことに意見が相次いだ。松村高夫慶応大学名誉教授は「戦前も自衛のためとして軍事研究が進められた」と指摘。「安倍政権は大学の軍事研究を認めるべきだとして、いくつかの大学が軍事研究を認めた。日本社会の軍事化の流れの中で出た発言で危機感を持っている」と話した。

精神科医の香山リカ立教大学教授は「学術会議でも抗議の声を上げにくい状況なのではないか。多くの人に現状を知ってもらい、軍事研究反対の声を上げていくことが大切だ」と話した。

と述べ、世話人の香山リカ・立教大学教授は、「検討委員会が大西会長の私見を否定することへの期待も込めて声明を発表した」と話しました。

日本学術会議が、大学や研究機関の研究者が自衛目的の軍事研究をすることの是非などを検討する委員会を設置したのを受け、医学系の研究者らでつくる「戦争と医の倫理」の検証を進める会」が8日、東京都内で記者会見した。代表世話人の西山勝夫・滋賀医科大学名誉教授は「学術会議が過去に出した『軍事目的のための科学研究を行わない声明』の擁護を求める」とする声明を発表した。

検証を進める会は、旧日本軍の七三一部隊による人体実験などの非人道行為を検証し、医の倫理向上を図るために二〇〇九年に設立された。

会見では、学術会議の大西隆会長が「自衛目的の研究を大学などの研究者が行うことは許容されるべきだ」と発言したことに意見が相次いだ。松村高夫慶応大学名誉教授は「戦前も自衛のためとして軍事研究が進められた」と指摘。「安倍政権は大学の軍事研究を認めるべきだとして、いくつかの大学が軍事研究を認めた。日本社会の軍事化の流れの中で出た発言で危機感を持っている」と話した。

精神科医の香山リカ立教大学教授は「学術会議でも抗議の声を上げにくい状況なのではないか。多くの人に現状を知ってもらい、軍事研究反対の声を上げていくことが大切だ」と話した。

## 学術会議の検討委設置を懸念

## 戦争と医の倫理の検証を進める会

# Medical group urges Science Council of Japan to keep military research ban

June 9, 2016 (Mainichi Japan)

Japanese version

A group of medical practitioners and other experts urged the high-powered Science Council of Japan (SCJ) on June 8 to retain its post-war resolution vowing never to follow scientific research for war purposes.

The Association for the Verification of Inhuman Conduct by Japanese Researchers and Health Care Professionals during the War made the request at a news conference in Tokyo attended by five members, including Shiga University of Medical Science professor emeritus Katsuo Nishiyama and Rikkyo University professor Rika Kayama. The association made the request as the SCJ, a representative organization of Japanese scholars and scientists in all fields of sciences, started to consider reviewing its long-held resolution to stand against military research.

The association has been engaged in efforts to verify the development of biological weapons and the actual conduct of Unit 731, the Imperial Japanese Army's secret research organ that undertook human experimentation during World War II.

Nishiyama said at the news conference, "The facts have remained hidden as medical scientists, doctors and others involved received exemptions from responsibility from the United States in exchange for providing data." He went on to say, "The problems of Unit 731 contain everything military research is destined to reach. The SCJ's move is to follow the path to past mistakes."